


≪記入例≫

【用紙②】収入計算書（平成29年度入学者用（大学院予約））

前年用（表）

収入計算書〔前年（平成27年1月～12月）用〕

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行います。

○学校名 長崎 大学 工学 研究科
 ○課程（該当の数字に○）：
 1. 士・博士前期課程 2. 博士後期課程 3. 博士医・歯・薬（4年制）・獣医学課程 4. 法科大学院
 ○氏名 長崎 花子  ○学籍番号 35113999

↓収入に関する証明書を参考に記入

〔各項目1万円未満切り捨て〕

1. 前年（平成27年1月～12月）の収入額 【証明書類必要】					
収入項目	収入額（A）				
定職 ◎	<table border="1"> <tr> <td>定職1（本人）</td> <td>（年額） 万円</td> </tr> <tr> <td>定職2（配偶者） 〔該当者のみ〕</td> <td>（年額） 万円</td> </tr> </table>	定職1（本人）	（年額） 万円	定職2（配偶者） 〔該当者のみ〕	（年額） 万円
定職1（本人）	（年額） 万円				
定職2（配偶者） 〔該当者のみ〕	（年額） 万円				
アルバイト ◎	アルバイト1 （年額） 47 万円				
	アルバイト2 （年額） 5 万円				
	アルバイト3 （年額） 万円				
父母等からの給付額（★） ※裏面に父母の署名・押印必要	（年額） 54 万円				
奨学金	（年額） 60 万円				
その他の収入（利子・配当・ 預貯金の取崩等）	（年額） 万円				
ア 収入額合計（※）	（年額） 166 万円				

2. 申込者本人1人にかかる 前年（平成27年1月～12月）の支出額 【申告のみ：支出についての証明書類不要】	
支出項目	支出額
日常生活費（食費・住居費・ 光熱費等）（☆）	（年額） 96 万円
授業料	（年額） 54 万円
通学費（定期代等）	（年額） 万円
その他の費用 （書籍費・遊興費・ 課外活動費等）	（年額） 12 万円
支出額合計（※）	（年額） 162 万円

【記入時の注意事項】
 ◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは1・2に記入後、3に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。
 ★計上する場合、前年用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署・押印が必要です。
 ☆自宅通学者は、世帯一人当たりの経費（世帯年間経費÷家族人数）を記入してください。

※「収入額合計」≧「支出額合計」とならない場合は、記入の誤りがないか再度見直してください。

・必要となる証明書類は裏面に添付してください。 【裏面につつく】

前年用（表）


【用紙②】収入計算書（平成29年度入学者用（大学院予約））

本用紙は、「A3サイズ1枚」により構成されています。
「奨学金案内」冊子及び【用紙①】より外してご利用ください。

本年見込用（表）

収入計算書〔本年見込（平成28年1月～12月）用〕

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行います。

○学校名 長崎 大学 工学 研究科
 ○課程（該当の数字に○）：
 1. 士・博士前期課程 2. 博士後期課程 3. 博士医・歯・薬（4年制）・獣医学課程 4. 法科大学院
 ○氏名 長崎 花子  ○学籍番号 35113999

【収入の状況】（A・Bの該当する方に、○）を付けてください。

A	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動はありません。	→	<ul style="list-style-type: none"> 以下、記入不要。 「1. 本年の収入見込額」の証明書類も提出不要。
B	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動しますので、以下のとおり報告します。	→	<ul style="list-style-type: none"> 1.2. の各項目を全て記入（前年と変動のない同じ項目も同じ金額を記入）。 1. の証明書類は変動のあるもののみ提出。 前年の1.2. の各項目も全て記入（前年1. の証明書類も必要）。

↓収入に関する証明書を参考に記入

〔各項目1万円未満切り捨て〕

1. 本年（平成28年1月～12月）の収入見込額 【証明書類必要】					
収入項目	収入額（B）				
定職 ◎	<table border="1"> <tr> <td>定職1（本人）</td> <td>（年額） 万円</td> </tr> <tr> <td>定職2（配偶者） 〔該当者のみ〕</td> <td>（年額） 万円</td> </tr> </table>	定職1（本人）	（年額） 万円	定職2（配偶者） 〔該当者のみ〕	（年額） 万円
定職1（本人）	（年額） 万円				
定職2（配偶者） 〔該当者のみ〕	（年額） 万円				
アルバイト ◎	アルバイト1 （年額） 48 万円				
	アルバイト2 （年額） 万円				
	アルバイト3 （年額） 万円				
父母等からの給付額（★） ※裏面に父母の署名・押印必要	（年額） 54 万円				
奨学金	（年額） 60 万円				
その他の収入（利子・配当・ 預貯金の取崩等）	（年額） 万円				
イ 収入見込額 合計（※）	（年額） 162 万円				

2. 申込者本人1人にかかる 本年（平成28年1月～12月）の支出見込額 【申告のみ：証明書類不要】	
支出項目	支出額
日常生活費（食費・住居費・ 光熱費等）（☆）	（年額） 96 万円
授業料	（年額） 54 万円
通学費（定期代等）	（年額） 万円
その他の費用 （書籍費・遊興費・ 課外活動費等）	（年額） 12 万円
支出見込額合計（※）	（年額） 162 万円

【記入時の注意事項】
 ◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは1・2に記入後、3に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。
 ★計上する場合、本年見込用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署・押印が必要です。
 ☆自宅通学者は、世帯一人当たりの経費（世帯年間経費÷家族人数）を記入してください。

※「収入額合計」≧「支出額合計」とならない場合は、その事由を記載してください。

〔事由〕

この収入計算書に記入した内容に基づき、前年と本年見込（前年に対して変動が見込まれる場合に限る）の収入金額を、スカラネットに入力する際に必ず記入してください。
 ・必要となる証明書類は裏面に添付してください。 【裏面につつく】

本年見込用（表）

本年見込の収入について、前年と変動しない場合、この面の記入は必要ありません。

本年見込用
(裏)

※証明書貼り付け不要

自宅生については
「日常生活費（世帯経費／家族数）」
も父母からの給付になります。
父母へお金を入れている場合はその金額を差し引いてください。

裏面についてはHPから様式：収入計算書（父母からの給付額について）をプリントアウトし利用してもかまいません。

学校指定

書類の提出

★父母等からの給付額について
下記の者が日本学生支援機構の奨学金と
おりであることに相違ありません。

必ず父か母に自署・押印を
お願いすること

○申込者氏名 長崎 花子
○給付者氏名【自署・押印】 長崎 太郎  ○申込者との関係（続柄） 父
[各項目 円単位：合計欄のみ 1万円未満切り捨て]

平成 28 年	日常生活費 (食費・住居費等)	授業料	通学費 (定期代等)	小遣い・ その他	平成 28 年	日常生活費 (食費・住居費等)	授業料	通学費 (定期代等)	小遣い・ その他
1月	円	円	円	円	8月	円	円	円	円
2月					9月				
3月					10月		270,000		
4月		270,000			11月				
5月					12月				
6月					小計	円	円	円	円
7月					合計				54 万円

[月別に記入できない場合は、年額のみを小計欄・合計欄に記入してください。]

前年用（裏）

※証明書貼り付け不要

自宅生については
「日常生活費（世帯経費／家族数）」
も父母からの給付になります。
父母へお金を入れている場合はその金額を差し引いてください。

裏面についてはHPから様式：収入計算書（父母からの給付額について）をプリントアウトし利用してもかまいません。

学校指定の様式

その

書類の提出

★父母等からの給付額について
下記の者が日本学生支援機構の奨学金と
おりであることに相違ありません。

必ず父か母に自署・押印を
お願いすること

○申込者氏名 長崎 花子
○給付者氏名【自署・押印】 長崎 太郎  ○申込者との関係（続柄） 父
[各項目 円単位：合計欄のみ 1万円未満切り捨て]

平成 27 年	日常生活費 (食費・住居費等)	授業料	通学費 (定期代等)	小遣い・ その他	平成 27 年	日常生活費 (食費・住居費等)	授業料	通学費 (定期代等)	小遣い・ その他
1月	円	円	円	円	8月	円	円	円	円
2月					9月				
3月					10月		270,000		
4月		270,000			11月				
5月					12月				
6月					小計	円	円	円	円
7月					合計				54 万円

[月別に記入できない場合は、年額のみを小計欄・合計欄に記入してください。]

前年用と本年見込用が表面の位置とは左右反対になっておりますので、ご注意ください。